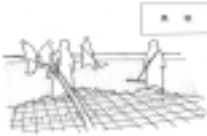







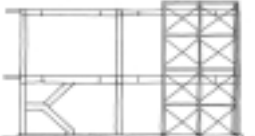

全 89 項目のうちの一例です。

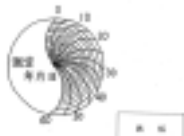

(作成 : Yoshi da DESIGN)

4 - 6 底盤コンクリート打設	4 - 6 底盤コンクリート打設写真	解 説 (指定・使用)
 <p>20**/5/11 撮影 K</p>		<p>(基礎または底盤の上端までのコンクリート打設の写真です。) 一般には、生コン車で搬入された生コンクリートをポンプ車のホースで型枠の中へ打ち込みます。 突き棒や振動機(パイブレーター)を使いながら、配筋が乱れないように、またスパーサーが外れないように注意しながら打設します。)</p>

4 - 7 底盤の生コンクリート納品書	4 - 7 底盤の生コンクリート納品書写真	解 説 (指定・使用)
 <p>20**/5/11 撮影 K</p>		<p>(生コン車によるコンクリートの搬入時に現場で受取る納品書を撮影します。納品書の内容の中で、発注強度(*)と単位セメント量の確認が大切です。)</p> <p>(*)発注強度(はっちゅうきょうど): $21+3=24$ 建物の生コンクリートの発注強度は、設計図書に示された設計基準強度に、「打設時の気温による補正值」と「供試体誤差補正值」を加えた値となっている。発注強度は「呼び強度」とも言う。</p>

6 - 3 鉄骨部材の製品検査(UT検査)	6 - 3 鉄骨部材の製品検査(UT検査)写真	解 説 (指定・使用)
 <p>20**/5/20 撮影 : N</p>		<p>鉄骨製作工場で鉄骨部材の溶接までが終わった段階で、部材の寸法の検査と溶接部の検査を行います。溶接部の検査は、目視検査の他、突合せ溶接ではUT検査を行います。溶接部の検査は、鉄骨製作工場と直接需給関係の無い第三者機関で行うのが原則です。)</p> <p>(*)UT検査(ユーティーけんさ): (株)アディック非破壊検査のひとつで、溶接に超音波を当てて内部の欠陥を検査する。超音波探傷試験(UT)とも言う。</p>

6 - 4 鉄骨架構の建て方の全景	6 - 4 鉄骨架構の建て方の全景写真	解 説 (指定・使用)
 <p>20**/5/26 撮影 : 吉田</p>		<p>いよいよ鉄骨の軸組が姿を現し、建物のおおよその大きさが見えてきました。今日のところは柱脚も梁継手もすべて仮付けです。これからは、これら接合部を写します。)</p>

1 6 - 2 給水管の水圧テスト	1 6 - 2 給水管水圧テスト写真	解 説 (指定・使用)
 <p>20**/6/29 撮影 : T</p>		<p>(給水管が配管された段階での水圧テスト継手や接合部が漏水せず、完全に機能することを確認します)</p>

